ノウフク・アワード２０２１応募用紙（記入例）

【農林漁業経営体が実施主体】

**１　応募者の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 運営主体（企業・団体・法人名等） | かぶしきがいしゃ　のうふく |
| 株式会社　ノウフク |
| 事業所名 |  |
|  |
| 代表者名 | （ふりがな）　のうふく　たろう |
| 氏　名　　農福　太郎　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（役職：社長　） |
| 所在地・連絡先・担当者名等 | 住所　〒〇〇〇-△△△△  〇〇県△△市□□町××-×× |
| 電話番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　FAX番号： |
| メールアドレス： |
| ホームページ（URL） |
| 担当者名：農林　福太郎　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（役職：　部長　　　） |
| 法人等の種類 | ☑農業法人　□社会福祉法人　□NPO法人　□株式会社　□有限会社  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組主体 | ☑農林漁業経営体　□社会福祉法人　□NPO法人　□特例子会社　□JA等組合  □生協　□地方自治体　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 障害者等の就労等の形態 | ☑農林漁業経営体等に雇用  □障害福祉サービス事業所に就労  □特例子会社に雇用  □農業漁業経営体等に施設外就労  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 設立年月日 | （西暦）　２００５年１月　　　　　　　　　（設立　１１年目） |
| **農福連携開始年月日** | （西暦）　２０１５年７月　　　　　　　　　（開始　６年目　） |
| **取り組んでいる事業** | ☑農業　□林業　□水産業　□加工業　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 組織の変遷 | 2005年1月　営農開始  2010年5月　株式会社に移行  2011年7月　認定農業者を取得 |
| 福祉サービス | □A型事業所　□B型事業所　□生活介護　□その他（　　　　　　　　　　　）　□該当なし |
| 連携企業、事業所名等  （福祉サービス） | ※グループ内連携の場合は連携企業名等を記載 |
| □A型事業所　□B型事業所　□生活介護　□その他（　　　　　　　　　　　）　□該当なし |
| 農福連携の体系図 | 株式会社ノウフク(直接雇用)　に加えて、  株式会社ノウフク　←農作業受委託→　福祉事業所　　にて運営 |
| 障害者数等 | 雇用者数又は利用者数：５人　　　　うち農業等に関わっている人数：　５人 |
| 取得済みの資格等 | ☑認定農業者　　□６次産業化認定事業者　　□GGAP　　☑JGAP　　□その他のGAP  ☑有機JAS　□ノウフクJAS　□エコファーマー　□その他（　　　　　　　　　　　） |
| **２．取組の背景（きっかけ）・目的（必須）**※４００文字以内で箇条書きにて記入してください。 | |
| 🔸当法人は、元々両親と私、従業員１名で農業を行ってきたが、両親の高齢化に伴い労働力が必要となったが、地域全体が高齢化し、人口が減少する中で、労働力となる人材が不足し、見つからなかったため、ハローワークを使って求人募集を行ったところ、障害を持つ方から応募があり、農林水産省の農の雇用事業を活用して、試しに雇用したところ、まじめに農作業に取組み、パートの方ともうまく付き合うことができたため、そのまま雇用を継続した。  🔸障害者目線で農作業の内容を見直したところ、農作業の効率化が図れるなどのメリットもあったので、その後障害者の雇用を増やし、現在に至っている。 | |

|  |
| --- |
| **３．取組の体制、具体的内容【**農福連携の取組みだけでなく、農福連携を通じた様々な活動（直売所、レストラン、観光農園等の開設、地域イベントへの参加等、他企業等との連携についても記載してください）】**（必須）**  　※１２００文字以内で箇条書きにて記入してください。 |
| 🔸当法人は、私と、障害を持たない従業員２名、障害者３名、農繁期にはパート雇用と、近隣の福祉事業所に農作業委託して農業を実施している。  🔸農地面積は、田が５ha 畑が３haで、水稲、ねぎ、なす、にんにく、サツマイモ栽培を行っており、農業ハウス３棟ではトマト栽培を行っている。  🔸障害者は、水稲以外の作物の栽培に携わっており、播種、育苗、収穫、出荷調整に携わっており、農業経営にとって貴重な労働力となっている。  🔸近くに特別支援学校があり、生徒さんを招いて毎年サツマイモの芋掘り体験を行っており、特別支援学校から当法人に就職した方が１名いる。  🔸にんにくついては、付加価値を高めるために黒にんにくの製造も行っており、黒にんにくの製造にも障害者に携わってもらっている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **４．取組実績（必須）**　※農地面積、荒廃農地の解消、売上高、障害者等の工賃（賃金）、農作業に関わる障害者数、障害者に農作業を委託している経営体数、交流人口等、取組実績がわかるものについて、項目ごとに取組当初時と直近５年間の推移を表形式で記入してください。 | | | | | | | |
| 項　　目 | 単位 | 取組当初 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
| 障害者数 | 人 | ０ | ３ | ３ | ４ | ４ | ５ |
| 農地面積 | a | 100 | 250 | 500 | 600 | 800 | 800 |
| 農業ハウス | 棟 |  | １ | ２ | ３ | ３ | ３ |
| 障害者の月平均賃金 | 円 |  | 98,000 | 101,000 | 102,000 | 115,000 | 120,000 |
| 売上金額 | 万円 | ５００ | ２０００ | ４５００ | ６０００ | ９０００ | 11,000 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **５．取組の工夫（必須）**　※取組に当たって工夫されている点を４００字以内で箇条書きにて記入してください |
| 🔸障害者の目線で農作業の見直しを行うとともに、障害者が使いやすい農機具の開発を行っている。  🔸毎朝、農作業を行う前に朝礼を行い、当日の農作業を確認するほか、週の終わりには1週間の農作業の振り返りを行い、翌週の農作業につなげている。  🔸障害者の体調管理には気を配り、真夏の炎天下の作業では、ほ場内に簡易の休憩所を設営し、熱中症対策に努めている。  🔸ハウス内は高温になりやすいので、ミスト装置を導入することで、作業効率を上げている。 |

|  |
| --- |
| **６．取組の効果（必須）**　※取り組んだことにより、①障害者等、②農林水産業、③地域に対してどのような効果を生み出しているかをそれぞれ４００字以内で箇条書きにて記入してください。 |
| 1. 障害者等（工賃や賃金の向上や障害者の自立、一般就労につながった事例、多様な人々が働くことができる職場環境の創出などについて記載してください） |
| 🔸障害の程度で１日あたりの勤務時間や週当たりの勤務日数が異なるが、県の最低賃金以上の支払いは行っている。  🔸障害者目線に立って、作業の見直しや治具の開発、ほ場の安全管理等を行っており、障害者が働きやすい職場づくりを行っている。  🔸障害者の適性を見極め、その人の能力に応じた作業を行わせている。  🔸最初に雇用した障害者は、コンバインなどの農業機械を運転できることから、主任のポストを与えて作業をしてもらっており、本人のモチベーションアップにもつながっている。  🔸社内において、障害者に対する理解が深まり、互いに助け合う雰囲気が生まれている。  🔸近隣の農業法人でも当法人を参考に障害者を雇用する動きが見え、地域全体で障害者を雇用する動きが見え始めている。 |
| 1. 農林水産業（取組を通じて荒廃農地等の減少、労働力の確保、経営の安定、生産性の向上や収益の向上等、地域の農林水産業の維持・発展等にどのような効果を及ぼしているかを記載してください） |
| 🔸障害者を雇用したことで、労働力不足が解消されるだけでなく、農作業の効率化にもつながり、経営の安定化を図ることができた。  🔸新たな作物の作付や規模拡大を図ることができ、収益が向上した。  🔸障害者目線で農作業を見直し、安全面でも農薬の不使用などに取り組むことで、有機農業に取り組むことができ、収益の向上につながっている。  🔸近隣の特別支援学校を招いて芋掘り体験行うなど、地域内交流を進めている。  🔸特別支援学校との連携、福祉事業所への農作業委託など、地域の活性化に努めている。 |
| 1. 地域（地域内外との交流、地域コミュニティの維持・再生、地域内連携による地域活性化等につながっている事例を記載してください） |
| 🔸障害者雇用に取組み、農業経営の安定化が図られたことが、県のローカルニュースで取り上げられたことから、県内はもちろんのこと県外から視察に訪れる農業法人やJAが増え、近隣の農家でも障害者を雇用する農業経営体が出てきている。  🔸県や市町村主催の農福連携セミナーに講師として呼ばれる機会が増えた。  🔸地域外の農業経営体からもアドバイスを求められる機会が増え、新たな連携が生まれている  🔸障害者を雇用することで、農作業の見直し、安全面を考慮した農薬等の不使用により、有機JASを取得したほか、JGAPの取得にもつながった。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **７．取組内容がわかる写真等**  ※写真、図表等を貼付し、20文字以内で説明を記入してください。取組内容を代表する写真を必ず3枚以上貼付してください。  ※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないように十分注意してください。 | |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **８．表彰等の受賞歴（該当があれば記入）** | |
| 表彰名等（受賞年度） | 主催者 |
| 2018年　ディスカバー農山漁村の宝グランプリ受賞 | 農林水産省 |

|  |
| --- |
| **９．取組に関するPR・エピソード（自由記入、写真、PR動画等添付可）**。1200字以内 |
|  |

①　記入欄には指定された文字数の範囲内で記入してください（文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください）。

②　ノウフク・アワード２０２１は、農福連携の普及啓発を目的に、表彰された取組内容はもちろんのこと、優良な取組事例を全国へ発信することとしており、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及び今後新たに構築するノウフクポータルサイトへの掲載並びに地方公共団体への情報提供等（農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など）に使用することがございますので、あらかじめ御了承ください。（個人名については公表、使用はいたしません。）

③　提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。